科目名	国際経営論　　International Business Management						
科目担当者	奥村 憲博　　OKUMURA Norihiro						
単位数	2	配当年次	2年	授業形態	講義	開講学期	前期
履修学部・学科［区分］ 他学部他学科履修	経営学部・経営学科［専門教育科目　専門科目］ 他学部他学科履修〇					ディプロマポリシーとの関連	(1)(3)
授業の概要	この講義では，国際経営を理解するための基本知識（主要な経営学説，知識・技術・イノベーション，会計財務，人的資源，行政と国際化など）について学習する。 経済のグローバル化は，中国，インド，ロシア，ブラジル等の新興工業国の台頭を迎え，ますます地理的範囲を増大しつつある。そうした経済のダイナミズムは，日本の大企業から中小企業にまで大きな影響を及ぼしている。「この状況に対応するために，日本企業はグローバル戦略と管理方法をいかに策定，実践すべきか」を念頭に置きながらの講義となる。						
授業の到達目標	①国際経営を理解するための基本知識（主要な経営学説，知識・技術・イノベーション，会計財務，人的資源，行政と国際化など）を学び、国際的視野(人間性・教養・国際性)を身に付けることになる。 ②また、経済のグローバル化の拡大、経済のダイナミズムを新興工業国を例に考察することにより、解決・改善に向けて主体的に対応する力(課題発見力・問題設定力・思考力・ソリューション提案力)を涵養する。						

授業計画・内容		
	1	国際化の進展と日本
	2	多国籍企業の参入形態
	3	多国籍企業の経営学説
	4	多国籍企業の参入戦略
	5	多国籍企業と知識・技術・イノベーション
	6	移転価格
	7	国際経営と外国為替レート
	8	国際経営とリスクリアル・オプションと投資の意思決定
	9	資金調達の国際化
	10	会計の国際化
	11	産業空洞化と産業集積
	12	人材の国際化と地域特性
	13	日本的人的資源管理と国際化
	14	国際人の育成
	15	行政と国際経営

授業外学修 (事前学修)	・毎回，Moodle に投稿されるプレゼン資料を予習し、講義内での意見、質問等をノートにまとめておく（毎週 2 時間程度）。
授業外学修 (事後学修)	・毎回，授業内容を復習し、それに関連する事例を新聞，テレビやインターネット等における国内外報道を検索し、ノートに追記する（毎週 2 時間程度）。

成績評価方法・評価比率・到達目標との対応	成績評価方法	評価比率	到達目標との対応
	定期試験 平常点（講義中の質疑・発言等）	80% 20%	①、② ①、②

成績評価基準	秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合
教科書	原則として教科書やテキストは使わない。パソコンのパワーポイント・ソフトを使って講義する（毎回 Moodle にプレゼン資料投稿）。
参考文献	
その他	